分科会について

日程および会場

日　時　平成２４年8月1日（水）１３：００～１６：００

会　場　福井県立福井南養護学校　　福井県立清水養護学校　　福井県立福井養護学校
福井県立南越養護学校　　福井県立嶺南西養護学校
福井県立福井東養護学校（於；特別支援教育センター）
福井県立嶺北養護学校　　福井大学教育地域科学部附属特別支援学校

日　程

13:00　13:30		16:00
受　付	分　科　会	アンケート記入後、分科会ごとに解散

A分科会

学校名　　福井県立福井南養護学校

会　場　　福井南養護学校　寄宿舎食堂

テーマ　　社会のルールをどう守らせていくのか
～集団の中で、一人一人のルールを守る意識を高め、行動につなげていくために～

協議の着眼点　○障害特性に応じた社会の規範意識の指導法を協議する。
（マイルールから、社会で許容されるルールへ）
○特別支援学校におけるルールづくりを協議する。

内　容　　最近、生活指導上の支援が必要な生徒が増え、ルールづくりを行ってきた。個別のかかわりでは適切に行動できるが、集団に入ると規範意識が薄れる。在学中に必要な支援は？

助言者　　福井少年鑑別所　所長　小野　和典　氏

Ｂ分科会

学校名　福井県立清水養護学校
会　場　清水養護学校　食堂
テーマ　校内移行支援
～児童生徒を主体とした移行支援のあり方を考える～
協議の着眼点　○校内移行支援の具体的取組についての情報交換
○よりよい校内移行支援体制のあり方について考える。
内　容　本校の小学部から中学部への移行支援、中学部から高等部（福井南養護学校高等部清水分教室）への移行支援についてのシステムとその事例を紹介する。
研究協議では、参加校の移行支援についての情報交換と、よりよい校内移行支援のあり方について意見交換を行う。
助言者　福井県特別支援教育センター　指導主事　西尾　幸代　氏

Ｃ分科会

学校名　福井県立福井養護学校
会　場　福井養護学校　プレイルーム
テーマ　生徒が自ら考え、主体的に連携・協働しながら学んでいく取り組み
～キャリア教育を見据えた模擬会社運営による実践～
協議の着眼点　○自立や社会参加を促すための具体的な取り組みとキャリア教育
内　容　○本校高等部におけるキャリア教育を見据えた実践紹介
○生徒による製品販売
○ワークシートを基にキャリア教育における実践的な取り組みについて考える
助言者　福井県教育庁高校教育課　特別支援教育室　主任　田上　博一　氏

Ｄ分科会

学校名　福井県立南越養護学校
会　場　南越養護学校　会議室
テーマ　家庭での困り感を軽減し、家庭生活を豊かにするための取り組み
協議の着眼点　○対応の難しい子どもの家庭との連携のあり方
内　容　対応が難しい事例において、どのように家庭と共通理解を図り支援していけばよいのか、本校の取り組みの他に、他校の例も報告し合い、連携の在り方について模索する場としたい。
助言者　日本ポーテージ協会　認定指導員　小坂　正栄　氏

Ｅ分科会

学校名　　福井県立嶺南西養護学校

会　場　　嶺南西養護学校　視聴覚室

テーマ　　保護者と連携した活力ある学校づくり
～より良いＰＴＡ活動を目指して～

協議の着眼点　○保護者と教員双方の意見に耳を傾けたＰＴＡ活動の改善
○ＰＴＡ活動における外部団体の協力

内　容　　○ＰＴＡ行事の「夏祭り」や、この事業の改善に向けての取り組みの紹介
○本校における夏休み生活支援事業の歩みと近年の活動内容、看護学校のボランティア単位認定制度の紹介

助言者　　福井県教育庁高校教育課　特別支援教育室　主任　岩井　秀夫　氏

Ｆ分科会

学校名　　福井県立福井東養護学校

会　場　　福井県特別支援教育センター　研修室

テーマ　　一人一人の発信を大切にし、子どもの世界を広げるかかわりをめざして
～子どもたちが把握しやすい環境を心がけ、やりとりする力を育てる～

協議の着眼点　○障害の重い子どもたちが把握しやすい環境作りの工夫として、個別や集団での取り組みについて考える。

内　容　　○疑似体験（グループワークショップ）、本校の実践紹介、見えやすさ、分かりやすさの体験
○グループ協議
○他校との情報交換
○助言者の講義　「障害の重い子のコミュニケーション手段」

助言者　　国立特別支援教育総合研究所　企画部主任研究員　齊藤　由美子　氏

Ｇ分科会

学校名　福井県立嶺北養護学校

会　場　嶺北養護学校　寄宿舎プレイ室

テーマ　チャレンジクッキング
～豊かな食生活をめざした取り組み～

協議の着眼点
○卒業後の食生活を豊かにするための支援のあり方について考える。
○寄宿舎での支援を卒業後の生活にどのようにつなげていけるかについて考える。

内　容
○卒業後の食生活を生かせる力を育てるための寄宿舎での取り組みを紹介する。
・栄養バランスの整った食事を考えるための支援
・調理のスキルを身に付けるための支援
○各校の情報交換を行う。

助言者　社会福祉法人　かすみが丘学園
地域生活支援センター　コミュニティかすみ　主任　番場　知明　氏

Ｈ分科会

学校名　福井大学教育地域科学部附属特別支援学校

会　場　附属特別支援学校　焼きものの部屋

テーマ　高等部「仕事」における電動ろくろを使った器作りの取り組み
～事例の報告と電動ろくろによる陶芸体験～

協議の着眼点
○電動ろくろでの器作りにおける学習活動の成果について共有する。
○事例報告から器作りを通した生徒の成長をたどる。

内　容
○実際に電動ろくろを使って、器作りを体験します。
※汚れてもよい服と小タオルをご持参ください。
※粘土代(500 円程度)を、当日集金します。
○高等部生徒の事例をいくつか紹介することで、この活動の有効性について協議します。

助言者　陶芸家　焔奏窯　主宰　福島　宏治　氏